無線クライアントユーティリティ

詳細設定ガイド

Contents

Y613-90021-00 Rev.C

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。		**補足事項や参考となる情報を説明しています。**

■表記について

本商品	お使いの無線 LAN アダプタを指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
［　］	［　］で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例： OK → ［OK］
Windows 7	Microsoft® Windows® 7 Starter、 Microsoft® Windows® 7 Home Premium、 Microsoft® Windows® 7 Professional および Microsoft® Windows® 7 Ultimate
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows Vista/XP」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

本書の構成

本書は、無線クライアントユーティリティの使い方について説明しています。本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章　無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に接続する

この章では、無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に接続する手順について説明しています。

■第 2 章　こんなときはこの設定

この章では、無線クライアントユーティリティを活用するための設定方法について説明しています。

■第 3 章　設定画面について

この章では、無線クライアントユーティリティの設定画面について、詳しく説明しています。

目次

第１章
無線LANルータ（アクセスポイント）に接続する

この章では、無線LANルータ（アクセスポイント）に接続する手順について説明しています。

1.1　無線クライアントユーティリティをインストールする

お使いのパソコンに、無線クライアントユーティリティをインストールします。
インストール方法は、次のマニュアルをご覧ください。

・無線 LAN アダプタのみをご購入された場合

　→無線 LAN アダプタに付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

・無線 LAN ルータ＋無線 LAN アダプタ（セット品）をご購入された場合

　→無線 LAN ルータ（セット品）に付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

1.2　無線クライアントユーティリティを起動する

無線クライアントユーティリティをインストールすると、パソコンを起動するときに無線クライアントユーティリティが自動的に起動（常駐）します。

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）と接続するための設定をするには、次の手順で無線クライアントユーティリティ画面を表示します。

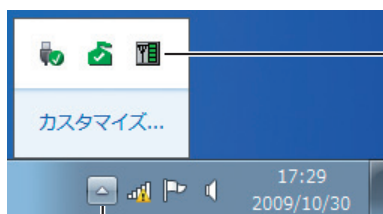
P.9「1.2.1　通知領域のアイコンで起動する」

P.12「1.2.2　スタートメニューで起動する」

無線クライアントユーティリティをインストールした直後は、自動的に P.14 「1.3.1　接続方法選択画面」が表示されます。

1.2.1 通知領域のアイコンで起動する

通知領域にアイコンが表示されているときは、次の手順で無線クライアントユーティリティを起動します。

1 アイコンをクリックします。

2　接続方法選択画面またはメイン画面が表示されます。

無線クライアントユーティリティをはじめて起動したとき、または設定情報がないときは、接続方法選択画面が表示されます。

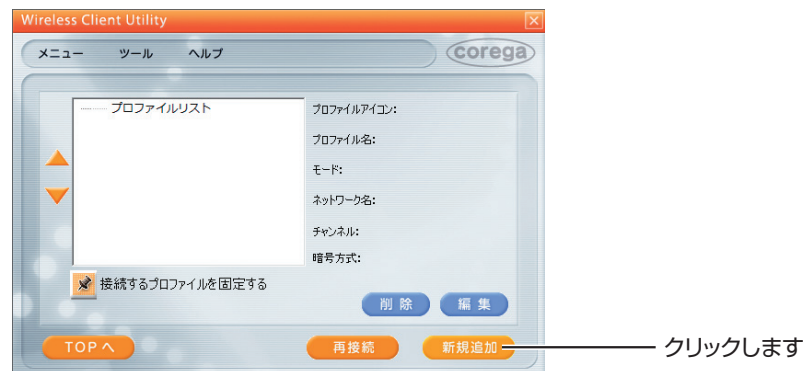
■接続方法選択画面

→このあとは、**P.14**「1.3　無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に接続する」をご覧ください。

■メイン画面

引き続き、手順 3（**P.11** ）に進みます。

3　［プロファイルの管理］をクリックします。

4　［新規追加］をクリックします。

5　接続方法選択画面が表示されます。

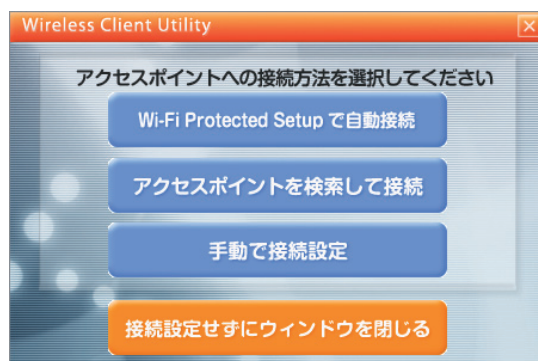
→このあとは、P.14「1.3 無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に接続する」をご覧ください。

1.2.2 スタートメニューで起動する

次の手順で無線クライアントユーティリティを起動します。

1 [スタート] ー「すべてのプログラム」(Windows 2000 では「プログラム」) ー「コレガ無線 LAN ユーティリティ」ー「無線クライアントユーティリティ」の順にクリックします。

2 接続方法選択画面またはメイン画面が表示されます。

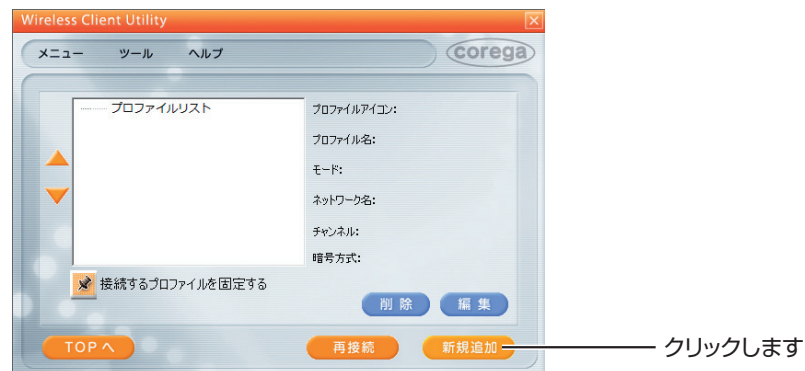
無線クライアントユーティリティをはじめて起動したとき、または設定情報がないときは、接続方法選択画面が表示されます。

■接続方法選択画面

→このあとは、P.14「1.3 無線 LAN ルータ(アクセスポイント)に接続する」をご覧ください。

■メイン画面

引き続き、手順 3(P.13)に進みます。

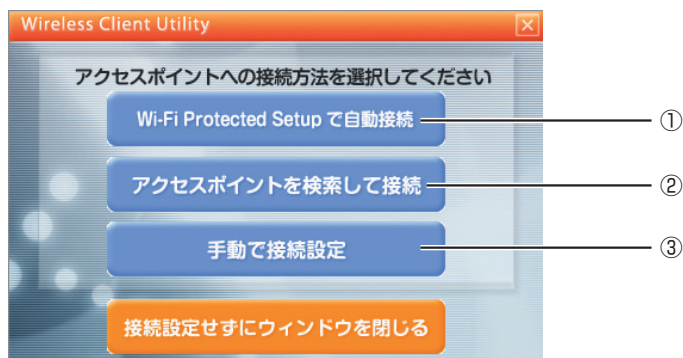
3　［プロファイルの管理］をクリックします。

4　［新規追加］をクリックします。

→このあとは、P.14「1.3 無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に接続する」をご覧ください。

1.3　無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に接続する

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に接続する手順を説明します。

1.3.1　接続方法選択画面

接続方法選択画面では、次の接続方法を選択できます。

① Wi-Fi Protected Setup で自動接続

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）が WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応しているときに、無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の WPS ボタンを使って簡単に接続できます。

また、無線 LAN アダプタの PIN コードを生成し、無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を設定して接続する方法もあります。

☞ **P.15**「1.4　WPS ボタンで接続する」

☞ **P.20**「1.5　PIN コードで接続する」

②アクセスポイントを検索して接続

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を検索し、ネットワークキー（暗号キー、共有キー）を入力して接続します。

☞ **P.26**「1.6　アクセスポイントを検索して接続する」

③手動で接続設定

ネットワーク名（SSID）、暗号方式など、接続に必要な項目をすべて設定して接続します。

☞ **P.31**「1.7　手動で設定して接続する」

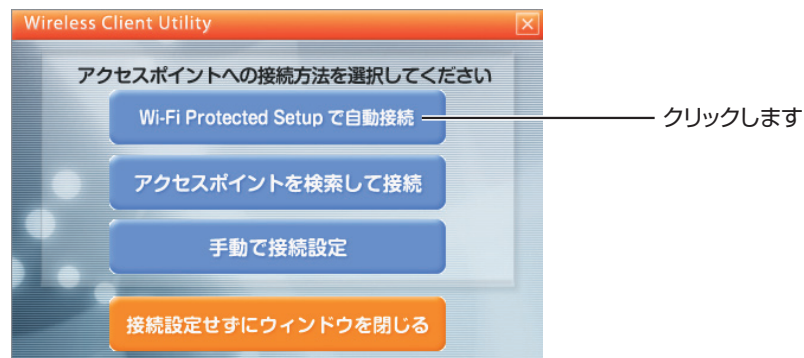
1.4 WPS ボタンで接続する

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）が WPS に対応しているときに、WPS ボタンを使って接続する手順を説明します。

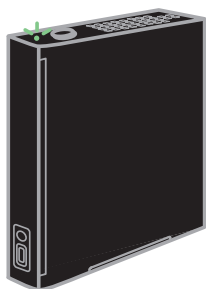
あらかじめ無線 LAN ルータ（アクセスポイント）とパソコンとを、近づけておいてください。

1 無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の電源をオンにします。

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）が起動するまでしばらくお待ちください。

2 ［Wi-Fi Protected Setup で自動接続］をクリックします。

3 ［プッシュボタンによる接続］をクリックします。

4 次の画面が表示されます。画面をそのままにして手順 5 に進みます。

5 無線 LAN ルータ(アクセスポイント)の WPS ボタンを 2 秒以上押して、WPS LED が点滅したことを確認します。

※イラストは例です。

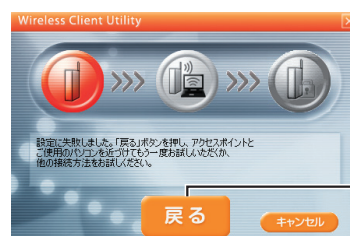
WPS ボタンや WPS LED の位置などは、お使いの無線 LAN ルータ（アクセスポイント）によって異なります。詳しくは、お使いの無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。

6 パソコンの画面に戻り、[Wi-Fi PROTECTED SETUP] をクリックします。

7　無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の検索が始まり、次の画面が表示されます。

8　設定が完了すると、次の画面が表示されます。［閉じる］をクリックします。

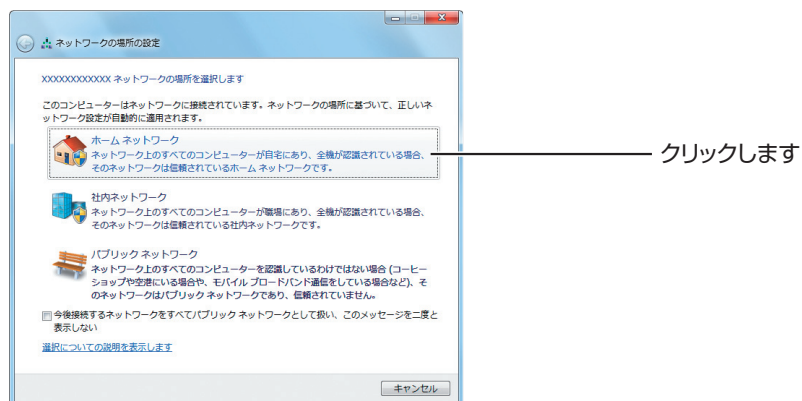
「アクセスポイントが見つかりません。」と表示された場合は、次の手順に従って、もう一度やり直してください。

①［戻る］をクリックします。

② P.11 の手順 3 からやり直します。

9 接続されていることを確認し、画面右上の をクリックして、無線クライアントユーティリティ画面を閉じます。

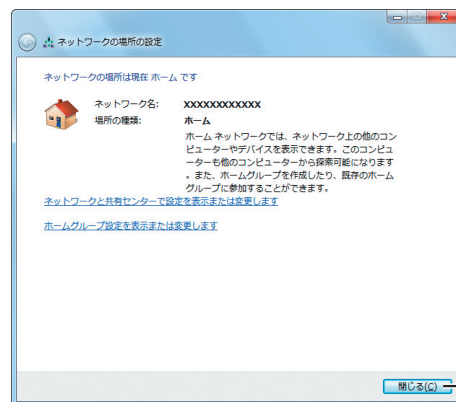
※画面は例です。

Windows XP/2000 をお使いの場合は、これで設定は完了です。

10 【Windows 7/Vista のみ】次の画面が表示された場合は、「ホームネットワーク」または「家庭」をクリックします。

※画面は Windows 7 の例です。

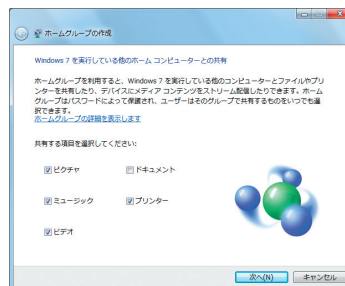
「ネットワークの場所の設定」について詳しくは、「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

11 【Windows Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、[続行] をクリックします。

12 ［閉じる］をクリックします。

※画面は Windows 7 の例です。

【Windows 7 のみ】

お使いの環境によって、「ホームグループの作成」または「ホームグループへの参加」が表示されます。「ホームグループの詳細を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

※「ホームグループの作成」および「ホームグループへの参加」については、弊社サポート対象外となります。

これで設定は完了です。

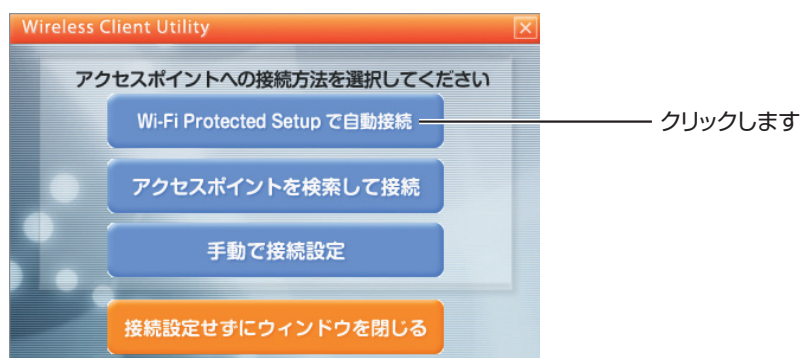
1.5 PIN コードで接続する

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）が WPS に対応しているときに、無線 LAN アダプタの PIN コードを生成し、無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を設定して接続する手順を説明します。

あらかじめ無線 LAN ルータ（アクセスポイント）とパソコンとを、LAN ケーブルで接続しておいてください。

1 無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の電源をオンにします。

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）が起動するまでしばらくお待ちください。

2 ［Wi-Fi Protected Setup で自動接続］をクリックします。

3 ［PIN コード入力による接続］をクリックします。

4　無線 LAN アダプタの PIN コードを確認します。

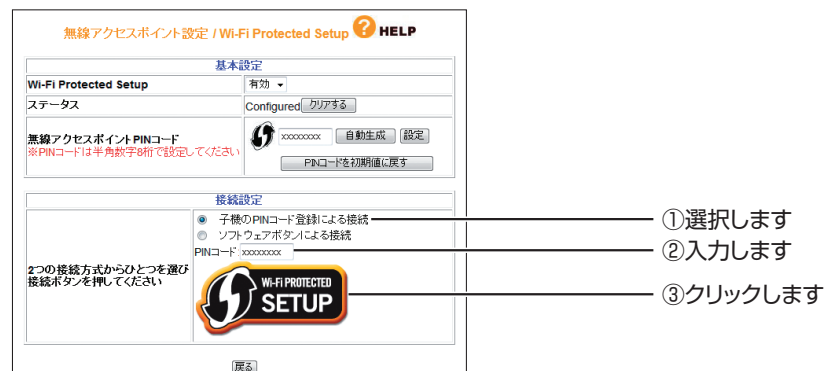
※画面は例です。

5　無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の設定画面を表示します。

詳しくは、お使いの無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。

6　「LAN 側設定」－「無線アクセスポイント設定」－「Wi-Fi Protected Setup」の順にクリックします。

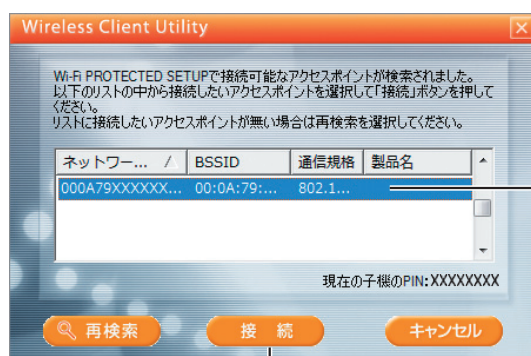
※画面は CG-WLR300NNH の例です。お使いの無線 LAN ルータ（アクセスポイント）によって、表示されるメニューが異なります。

7　「子機の PIN コード登録による接続」を選択し、手順 4 で確認した PIN コードを入力して、[Wi-Fi PROTECTED SETUP] をクリックします。

※画面は例です。

8 無線クライアントユーティリティ画面に戻り、［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックします。

クリックします

※画面は例です。

9 接続する無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を選択して、［接続］をクリックします。

※画面は例です。

10 無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の検索が始まり、次の画面が表示されます。

11 設定が完了すると、次の画面が表示されます。［閉じる］をクリックします。

「アクセスポイントが見つかりません。」と表示された場合は、次の手順に従って、もう一度やり直してください。

① ［OK］をクリックします。

②P.11 の手順３からやり直します。

12 接続されていることを確認し、画面右上の ✕ をクリックして、無線クライアントユーティリティ画面を閉じます。

※画面は例です。

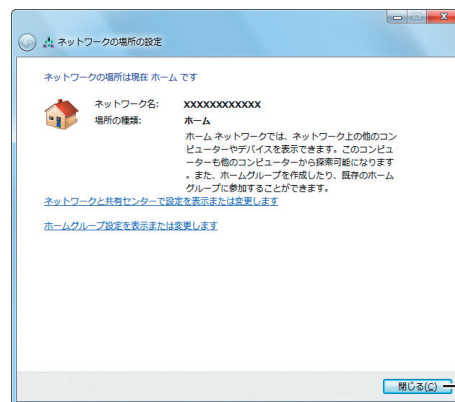
Windows XP/2000 をお使いの場合は、これで設定は完了です。

13 【Windows 7/Vista のみ】次の画面が表示された場合は､｢ホームネットワーク」または「家庭」をクリックします。

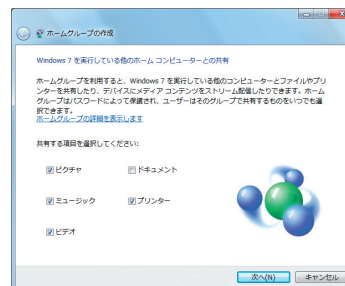
※画面は Windows 7の例です。

「ネットワークの場所の設定」について詳しくは、「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

14 【Windows Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、［続行］をクリックします。

15 ［閉じる］をクリックします。

※画面は Windows 7 の例です。

【Windows 7 のみ】
お使いの環境によって、「ホームグループの作成」または「ホームグループへの参加」が表示されます。「ホームグループの詳細を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

※「ホームグループの作成」および「ホームグループへの参加」については、弊社サポート対象外となります。

これで設定は完了です。

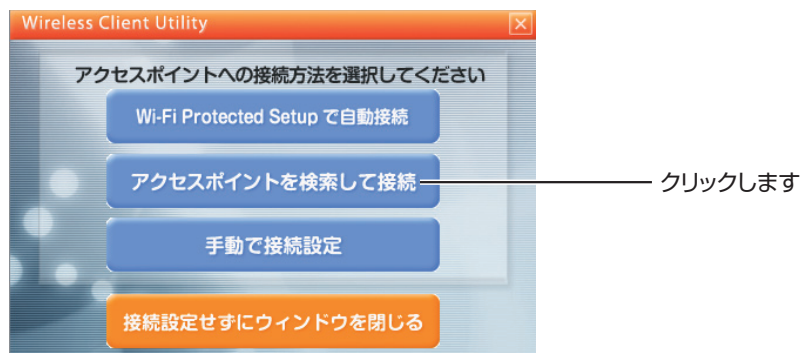
1.6 アクセスポイントを検索して接続する

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を検索し、ネットワークキー（暗号キー、共有キー）を入力して接続する手順を説明します。

・あらかじめ無線 LAN ルータ（アクセスポイント）とパソコンとを、近づけておいてください。
・あらかじめ無線LANルータ（アクセスポイント）のネットワーク名（SSID）、ネットワークキーなどを、確認しておいてください。

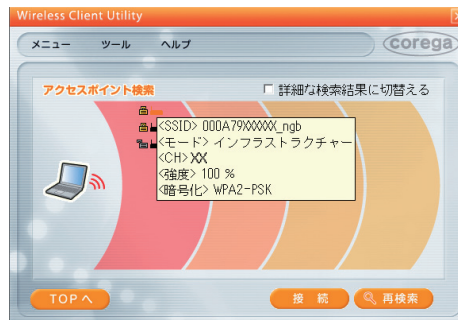
1　無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の電源をオンにします。

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）が起動するまでしばらくお待ちください。

2　［アクセスポイントを検索して接続］をクリックします。

3　無線 LAN ルータ（アクセスポイント）が表示されます。

無線 LAN セキュリティが設定されている無線 LAN ルータ（アクセスポイント）はアイコンで、無線 LAN セキュリティが設定されていない無線 LAN ルータ（アクセスポイント）はアイコンで表示されます。

※画面は例です。

・無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のアイコン上にマウスポインタを合わせると、ネットワーク名（SSID）や暗号化などの情報が表示されます。

※画面は例です。

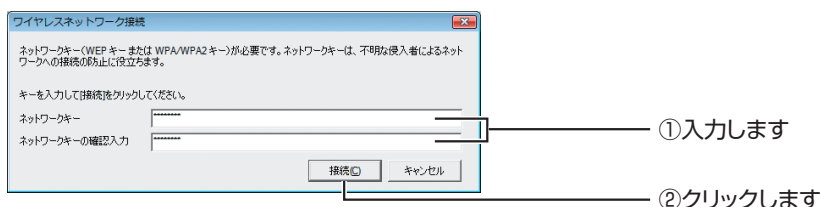
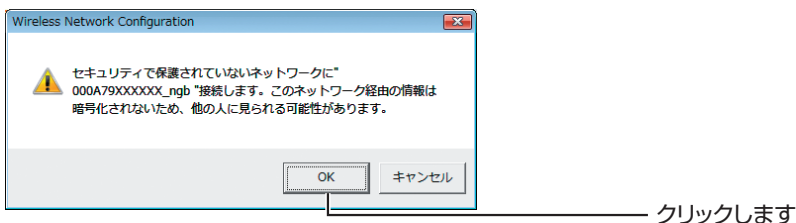
・左側に表示された無線 LAN ルータ（アクセスポイント）ほど、電波が強いことを示します。パソコンからの距離ではありません。
・「詳細な検索結果に切替える」にチェックを付けると、無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の詳細を一覧表示します。

4　**接続する無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のアイコンを、ダブルクリックします。**

※画面は例です。

5 無線LAN ルータ（アクセスポイント）の無線LAN セキュリティによって、表示される画面が異なります。

WPA-PSK、WPA2-PSK、WEP が設定されている場合

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に設定されているネットワークキーを入力して、［接続］をクリックします。

※画面は例です。

セキュリティが設定されていない場合

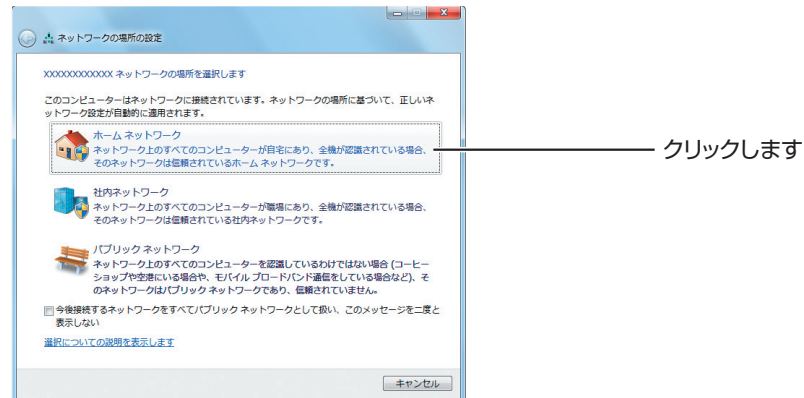
［OK］をクリックします。

※画面は例です。

6 接続されていることを確認し、画面右上の ☒ をクリックして、無線クライアントユーティリティ画面を閉じます。

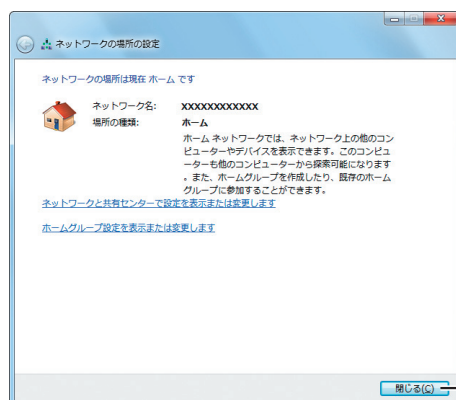
※画面は例です。

Windows XP/2000 をお使いの場合は、これで設定は完了です。

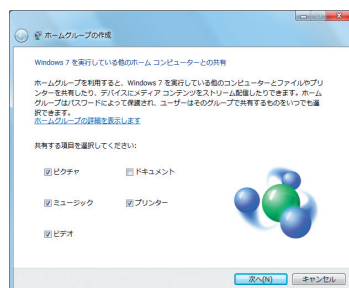
7　**【Windows 7/Vista のみ】次の画面が表示された場合は、「ホームネットワーク」または「家庭」をクリックします。**

※画面は Windows 7 の例です。

「ネットワークの場所の設定」について詳しくは、「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

8　**【Windows Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、［続行］をクリックします。**

9 ［閉じる］をクリックします。

※画面は Windows 7の例です。

【Windows 7のみ】
お使いの環境によって、「ホームグループの作成」または「ホームグループへの参加」が表示されます。「ホームグループの詳細を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

※「ホームグループの作成」および「ホームグループへの参加」については、弊社サポート対象外となります。

これで設定は完了です。

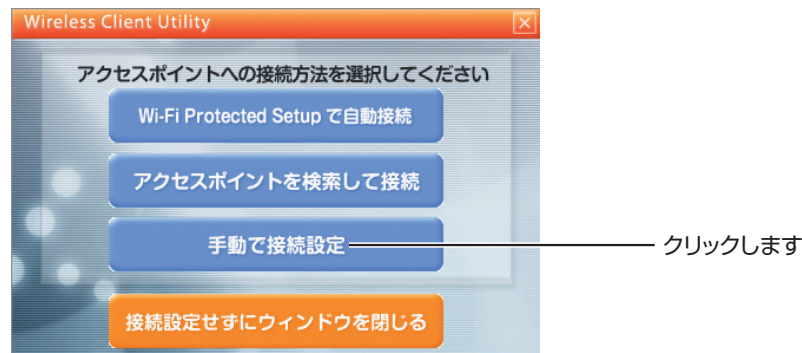
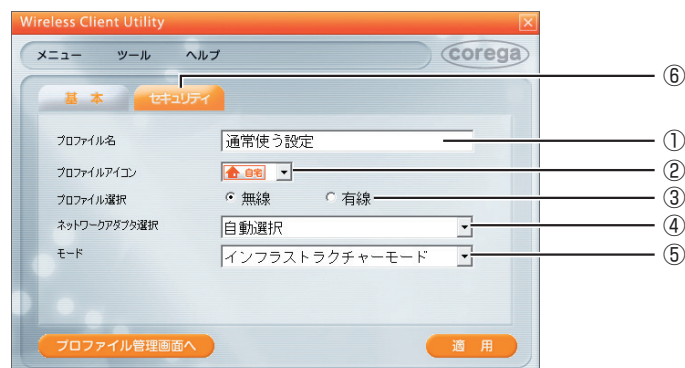
1.7　手動で設定して接続する

ネットワーク名（SSID）、暗号方式など、接続に必要な項目をすべて設定して接続する手順を説明します。

・あらかじめ無線 LAN ルータ（アクセスポイント）とパソコンとを、近づけておいてください。
・あらかじめ無線LANルータ(アクセスポイント)のネットワーク名(SSID)、暗号方式、ネットワークキーなどを、確認しておいてください。

1　無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の電源をオンにします。

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）が起動するまでしばらくお待ちください。

2　[手動で接続設定］をクリックします。

3　プロファイルー基本画面で次のように設定します。

※画面は例です。

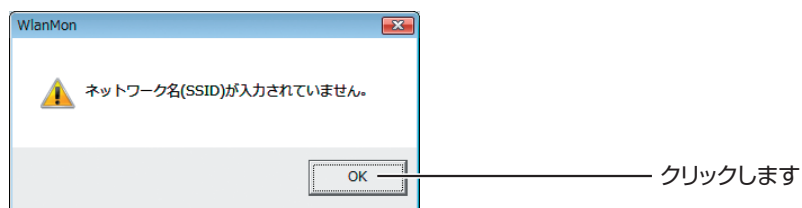
①プロファイル名を入力します。

②プロファイルアイコンを選択します。

③「無線」を選択します。

④「自動選択」またはお使いの無線 LAN アダプタを選択します。

⑤「インフラストラクチャーモード」を選択します。

⑥セキュリティタブをクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

5 プロファイルーセキュリティ画面で次のように設定します。

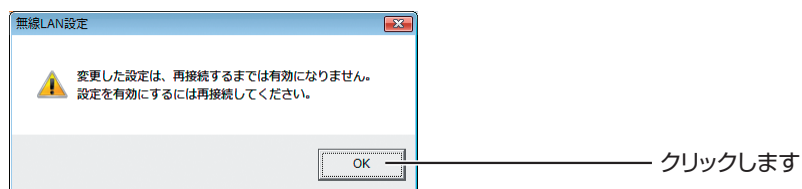
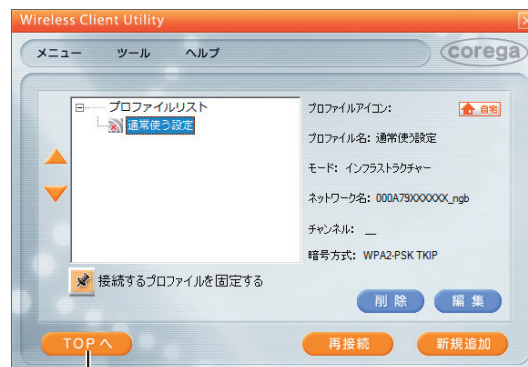
※画面は「WPA2-PSK」の例です。

①無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のネットワーク名（SSID）を選択または入力します。

②無線 LAN ルータ（アクセスポイント）と同じ無線 LAN セキュリティを設定します。認証方式によって設定する項目が異なります。

③［適用］をクリックします。

無線 LAN セキュリティについて詳しくは、P.36「2.1　無線 LAN セキュリティを設定する」をご覧ください。

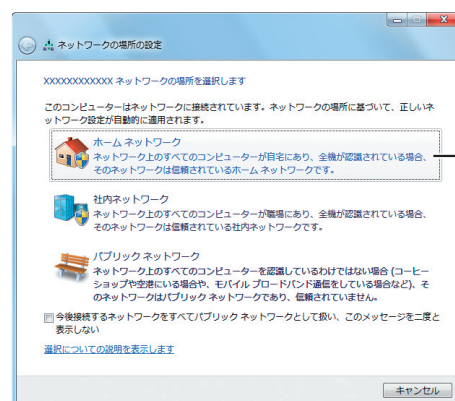
6 ［OK］をクリックします。

7　[TOP へ] をクリックします。

※画面は例です。

8　接続されていることを確認し、画面右上の ✕ をクリックして、無線クライアントユーティリティ画面を閉じます。

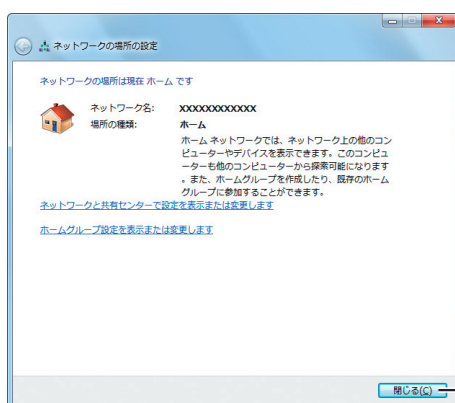
※画面は例です。

Windows XP/2000 をお使いの場合は、これで設定は完了です。

9　【Windows 7/Vista のみ】次の画面が表示された場合は、「ホームネットワーク」または「家庭」をクリックします。

※画面は Windows 7 の例です。

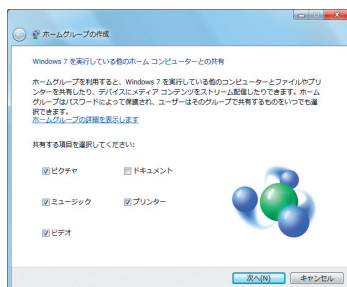
「ネットワークの場所の設定」について詳しくは、「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

10【Windows Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、[続行]をクリックします。

11［閉じる］をクリックします。

※画面は Windows 7 の例です。

【Windows 7 のみ】

お使いの環境によって、「ホームグループの作成」または「ホームグループへの参加」が表示されます。「ホームグループの詳細を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

※「ホームグループの作成」および「ホームグループへの参加」については、弊社サポート対象外となります。

これで設定は完了です。

第 2 章
こんなときはこの設定

この章では、無線クライアントユーティリティを活用するための設定方法について説明しています。

2.1 無線 LAN セキュリティを設定する

無線 LAN ではデータの通信に電波を利用しているため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりするおそれがあります。無線クライアントユーティリティでは、これらの対策として次のようなセキュリティ機能を搭載しています。

無線 LAN で接続するすべての機器に、同じ無線 LAN セキュリティを使用する必要があります。そのため、接続する無線 LAN ルータ（アクセスポイント）にどの無線 LAN セキュリティを設定しているか、あらかじめ確認しておいてください。

2.1.1 無線クライアントユーティリティで設定できるセキュリティ機能

■ SSID（Service Set Identifier）

無線 LAN に接続する機器を識別するネットワークグループ名です。ネットワーク名、ESSID と呼ばれることもあります。同じ SSID を持つ無線 LAN 機器同士でしか通信ができないため、独自の SSID を設定することによって、外部から不正侵入される危険が減少します。

■暗号化

無線 LAN 通信の通信内容を傍受されないように暗号化するセキュリティ機能です。

・WEP（Wired Equivalent Privacy）

通信内容を暗号化し、通信内容の傍受を防ぐセキュリティ機能です。仮に通信データを傍受された場合でも、容易に通信内容を復元されません。64Bit、128Bit の 2 種類があり、ASCII 文字（半角英数記号）や 16 進数（0 ～ 9、a ～ f）を入力し暗号キーを作成します。

・WPA（Wi-Fi Protected Access）

通信内容を暗号化し、通信内容の傍受を防ぐセキュリティ機能です。仮に通信データを傍受された場合でも、容易に通信内容を復元されません。暗号キーは一定時間ごとに変わる TKIP を採用しており、WEP よりも解読されにくくなります。
無線クライアントユーティリティでは、「WPA-PSK（Personal）」の設定ができます。

・WPA2（Wi-Fi Protected Access2）

WPA2 は Wi-Fi アライアンスが 2004 年 9 月に発表した新しい規格です。米標準技術局（NICT）が定めた暗号化標準の AES を採用しており、128 ～ 152Bit の可変調キーを利用した強力な暗号化ができます。そのほかの仕様については WPA とほとんど変わらないため、WPA と WPA2 との混在した環境で使用できます。

2

■ WPS（Wi-Fi Protected Setup）

Wi-Fi アライアンスが 2007 年 1 月より認定を開始した規格です。無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の WPS ボタンを押すか、または PIN（Personal Identification Number）コードを入力して、無線 LAN アダプタを無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に登録し、SSID と無線 LAN セキュリティを設定できます。

WPS での接続手順は、次の項目をご覧ください。

☞ P.15「1.4　WPS ボタンで接続する」

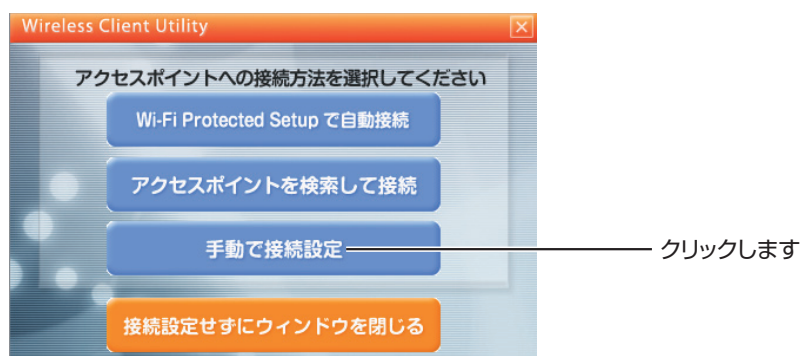
☞ P.20「1.5　PIN コードで接続する」

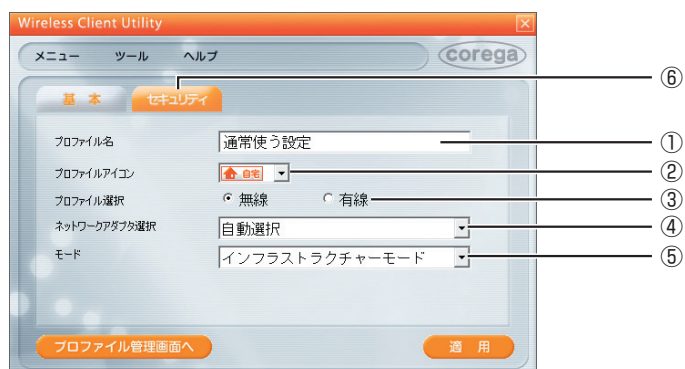
2.2　無線 LAN セキュリティを手動で設定する

ここでは、接続プロファイルを手動で作成するときに、無線 LAN セキュリティを設定する手順を説明します。

1　**無線クライアントユーティリティを起動して、接続方法選択画面を表示します。**

P.9「1.2　無線クライアントユーティリティを起動する」

2　**［手動で接続設定］をクリックします。**

3　**プロファイルー基本画面で次のように設定します。**

■プロファイルー基本画面

※画面は例です。

①プロファイル名を入力します。

②プロファイルアイコンを選択します。

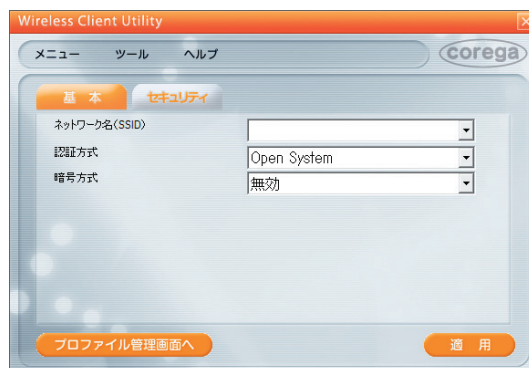
③「無線」を選択します。

④「自動選択」またはお使いの無線 LAN アダプタを選択します。

⑤「インフラストラクチャーモード」を選択します。

⑥セキュリティタブをクリックします。

4　プロファイルーセキュリティ画面が表示されます。

■プロファイルーセキュリティ画面

※画面は「Open System」の例です。

設定する無線 LAN セキュリティによって、設定する項目が異なります。選択する認証方式によって、次の項目をご覧ください。

P.39 「2.2.1　Open System 設定」
P.41 「2.2.2　Shared Key 設定」
P.42 「2.2.3　WPA-PSK/WPA2-PSK 設定」

2.2.1 Open System 設定

認証方式で「Open System」を選択すると、次の画面が表示されます。

※画面は例です。

①基本タブ

P.38「■プロファイルー基本画面」に戻ります。

②ネットワーク名（SSID）

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のネットワーク名（SSID）を選択または入力します。

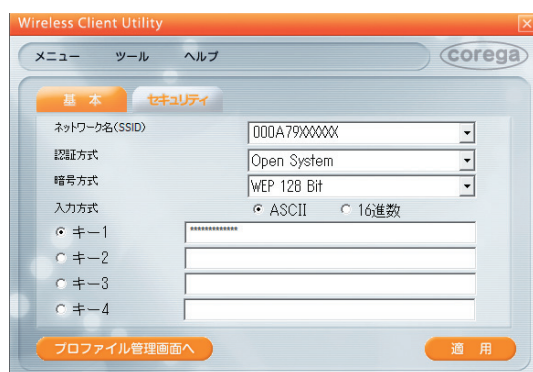
③暗号方式

・無効

無線 LAN セキュリティを使用しません。

・WEP 64 Bit ／ WEP 128 Bit

WEP キー（64bit または 128bit）を使用します。

「WEP 64 Bit」または「WEP 128 Bit」を選択すると、次の画面が表示されます。「ASCII」または「16 進数」を選択し、WEP キーを入力します。4 つまで WEP キーを入力でき、チェックを付けた WEP キーを使用します。

※画面は「WEP 128 Bit」を選択した例です。

WEP キーに入力できる文字数は次のとおりです。

暗号方式	入力方式	
	ASCII	16進数
WEP 64 Bit	5文字（半角英数記号）	10文字（0-9,a-f）
WEP 128 Bit	13文字（半角英数記号）	26文字（0-9,a-f）

・802.1x

RADIUS サーバを使用して認証します。

「802.1x」を選択し、［802.1x 設定］をクリックすると、P.73 「■ 802.1x 認証」を表示します。

④ ［プロファイル管理画面へ］

P.67 「3.4.1 プロファイル管理画面」を表示します。

⑤ ［適用］

設定内容を保存します。

2.2.2 Shared Key 設定

認証方式で「Shared Key」を選択すると、次の画面が表示されます。

※画面は「WEP128 Bit」を選択した例です。

①基本タブ

P.38「■プロファイル－基本画面」に戻ります。

②ネットワーク名（SSID）

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のネットワーク名（SSID）を選択または入力します。

③暗号方式

・WEP 64 Bit ／ WEP 128 Bit

WEP キー（64bit または 128bit）を使用します。
「ASCII」または「16 進数」を選択し、WEP キーを入力します。4 つまで WEP キーを入力でき、チェックを付けた WEP キーを使用します。

WEP キーに入力できる文字数は次のとおりです。

暗号方式	入力方式	
	ASCII	16進数
WEP 64 Bit	5文字（半角英数記号）	10文字（0-9,a-f）
WEP 128 Bit	13文字（半角英数記号）	26文字（0-9,a-f）

④［プロファイル管理画面へ］

P.67「3.4.1　プロファイル管理画面」を表示します。

⑤［適用］

設定内容を保存します。

2.2.3 WPA-PSK/WPA2-PSK 設定

認証方式で「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択すると、次の画面が表示されます。

※画面は「WPA2-PSK」を選択した例です。

①基本タブ

P.38「■プロファイルー基本画面」に戻ります。

②ネットワーク名（SSID）

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のネットワーク名（SSID）を選択または入力します。

③暗号方式

・TKIP ／ AES

暗号方式に TKIP または AES のどちらを使うか選択します。無線 LAN ルータ（アクセスポイント）が「自動（TKIP/AES)」に設定されているときは、どちらを選択しても接続できます。

「ASCII」または「16 進数」を選択し、共有キーを入力します。

共有キーに入力できる文字数は次のとおりです。

暗号方式	入力方式	
	ASCII	16進数
TKIP／AES	8～63文字（半角英数記号）	64文字（0-9,a-f）

④［プロファイル管理画面へ］

P.67 「3.4.1 プロファイル管理画面」を表示します。

⑤［適用］

設定内容を保存します。

2.3 アドホックモードで接続する

アドホックモードとは、無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を使わずに、パソコンとパソコンを直接無線 LAN で接続する方法です。

・すでにアドホックモードで設定したパソコンがある場合

☞ P.43「2.3.1　ネットワークを検索して接続する」

・はじめてアドホックモードのネットワークを構築する場合

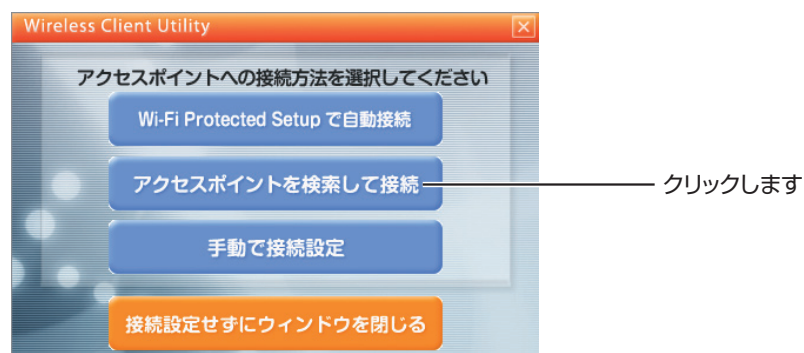
☞ P.46「2.3.2　新規にアドホックモードを設定して接続する」

2.3.1 ネットワークを検索して接続する

すでにアドホックモードで設定したパソコンがある場合に、ネットワークを検索して設定する手順を説明します。

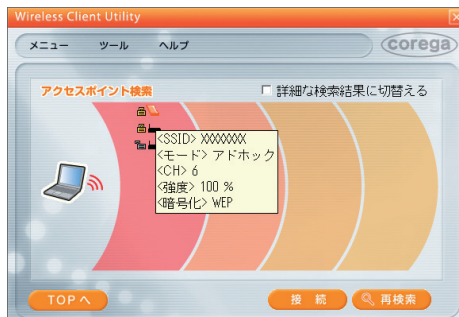
1　**無線クライアントユーティリティを起動して、接続方法選択画面を表示します。**

☞ P.9「1.2　無線クライアントユーティリティを起動する」

2　**［アクセスポイントを検索して設定］をクリックします。**

3 アドホックモードに設定されたパソコンが アイコンで表示されます。

セキュリティが設定されているパソコンは アイコンで、セキュリティが設定されていないパソコンは アイコンで表示されます。

※画面は例です。

・アドホックモードに設定されたパソコンのアイコン上にマウスポインタを合わせると、ネットワーク名（SSID）や暗号化などの情報が表示されます。

※画面は例です。

・左側に表示されたアドホックモードに設定されたパソコンほど、電波が強いことを示します。パソコンからの距離ではありません。
・「詳細な検索結果に切替える」にチェックを付けると、アドホックモードに設定されたパソコンの詳細を一覧表示します。

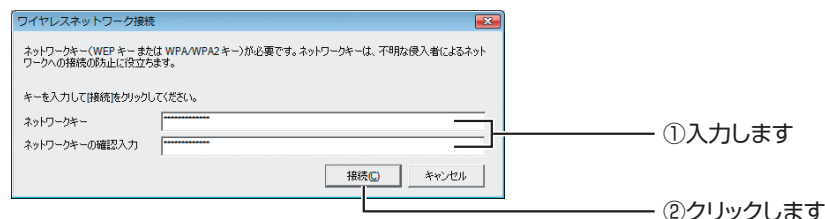
2

4　接続するパソコンのアイコンを、ダブルクリックします。

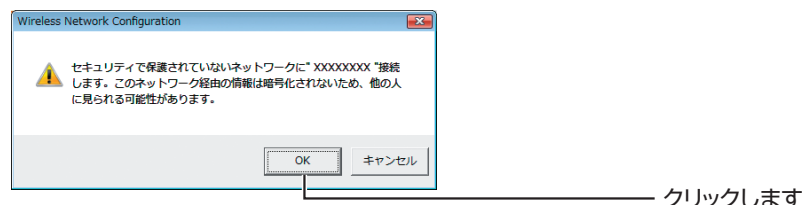
※画面は例です。

5　アドホックモードに設定されたパソコンのセキュリティ設定によって、表示される画面が異なります。

WEP が設定されている場合

アドホックモードに設定されたパソコンに設定されているネットワークキーを入力して、［接続］をクリックします。

※画面は例です。

セキュリティが設定されていない場合

［OK］をクリックします。

※画面は例です。

6 接続されていることを確認し、画面右上の ☒ をクリックして、無線クライアントユーティリティ画面を閉じます。

※画面は例です。

これで設定は完了です。

2.3.2 新規にアドホックモードを設定して接続する

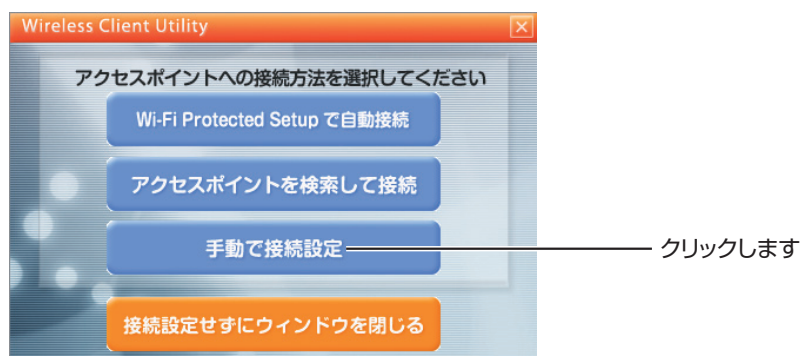
ここでは、2 台のパソコンを使って、アドホックモードで接続する手順を説明します。
2 台のパソコンで同じ設定をします。

1 無線クライアントユーティリティを起動して、接続方法選択画面を表示します。

P.9 「1.2 無線クライアントユーティリティを起動する」

2 ［手動で接続設定］をクリックします。

3 プロファイル－基本画面で次のように設定します。

■プロファイル－基本画面

※画面は例です。

①プロファイル名を入力します。

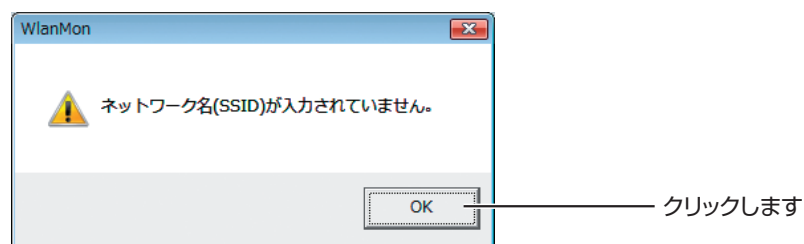
②プロファイルアイコンを選択します。

③「無線」を選択します。

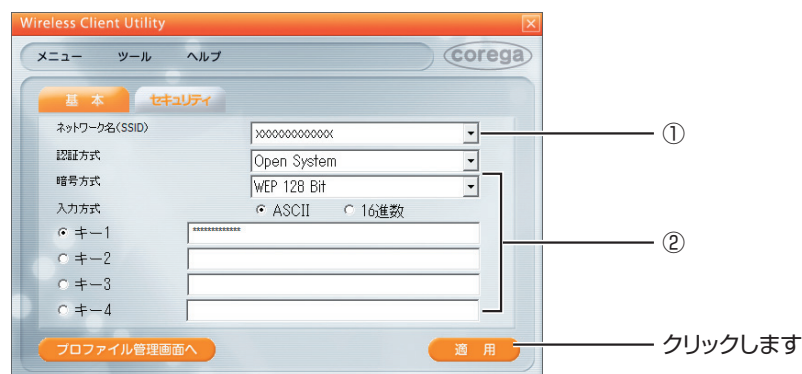
④「自動選択」またはお使いの無線 LAN アダプタを選択します。

⑤「アドホックモード」を選択します。

⑥「自動設定」を選択します。

⑦セキュリティタブをクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

5　プロファイル－セキュリティ画面で次のように設定して、［適用］をクリックします。

■プロファイル－セキュリティ画面

※画面は「WEP　128 Bit」に設定した例です。

①ネットワーク名（SSID）

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のネットワーク名（SSID）を選択または入力します。

②暗号方式

・無効

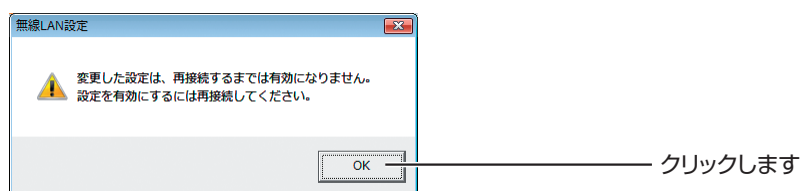
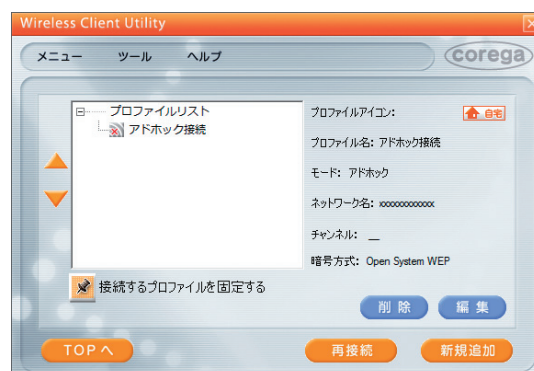
無線 LAN セキュリティを使用しません。

・WEP 64 Bit ／ WEP 128 Bit

WEP キー（64bit または 128bit）を使用します。
「ASCII」または「16 進数」を選択し、WEP キーを入力します。4 つまで WEP キーを入力でき、チェックを付けた WEP キーを使用します。

WEP キーに入力できる文字数は次のとおりです。

暗号方式	入力方式	
	ASCII	16進数
WEP 64 Bit	5文字（半角英数記号）	10文字（0-9,a-f）
WEP 128 Bit	13文字（半角英数記号）	26文字（0-9,a-f）

6　［OK］をクリックします。

7　プロファイル－基本画面が表示されます。

※画面は例です。

これで１台目のパソコンの設定は完了です。

8　２台目のパソコンを設定します。

２台目のパソコンを、次のどちらかの手順で設定してください。

P.43「2.3.1　ネットワークを検索して接続する」

P.46「2.3.2　新規にアドホックモードを設定して接続する」

これでアドホックモードの設定は完了です。

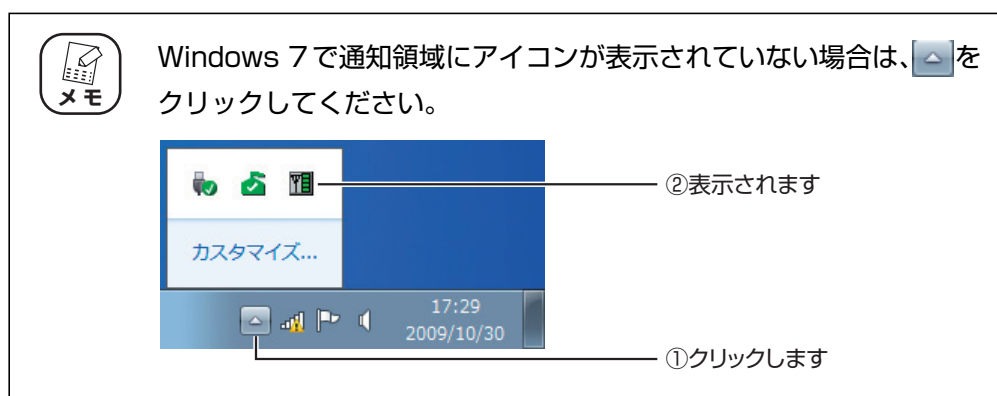
2.4 無線 LAN アダプタを取り外す

ここでは、パソコンの電源がオンの状態で、一時的に無線 LAN アダプタを取り外す手順を説明します。

2.4.1 無線クライアントユーティリティを終了する

無線クライアントユーティリティ画面右上の をクリックするだけでは、終了しません。次の手順で、無線クライアントユーティリティを終了します。

1 画面右下の通知領域の アイコン（または アイコン）を右クリックし、「終了」をクリックします。

※画面は例です。

以上で、無線クライアントユーティリティが終了しました。

2.4.2 無線 LAN アダプタを取り外す

引き続き、無線 LAN アダプタを取り外します。
お使いの OS によって手順が異なります。

P.51「■Windows 7の場合」

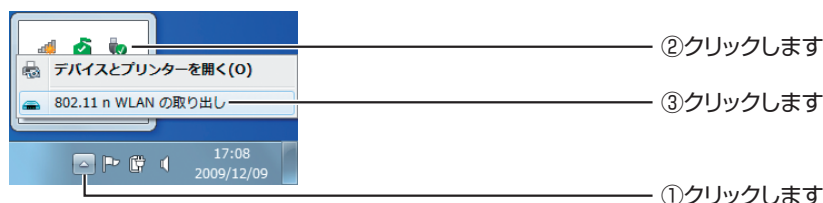
P.51「■Windows Vistaの場合」

P.52「■Windows XPの場合」

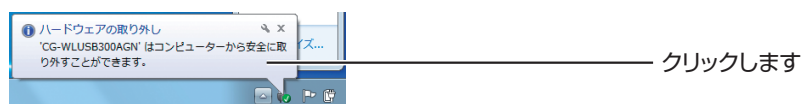
P.52「■Windows 2000の場合」

■ Windows 7 の場合

Windows 7 で無線 LAN アダプタを取り外すには、次の手順に従ってください。

1　画面右下の通知領域の アイコン－ アイコンの順にクリックし、表示されるメッセージをクリックします。

※画面は CG-WLUSB300AGN の例です。

2　表示されるメッセージをクリックします。

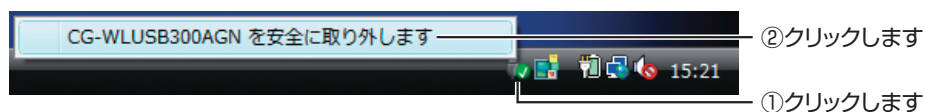
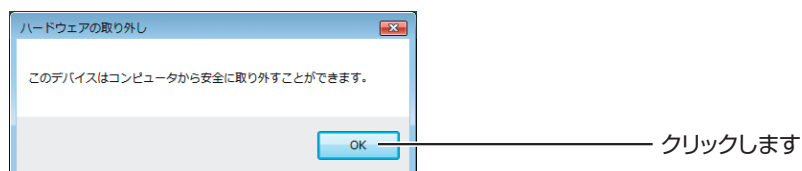
クリックしなくても、しばらくするとメッセージが消えます。

※画面は CG-WLUSB300AGN の例です。

3　無線 LAN アダプタを取り外します。

以上で、無線 LAN アダプタの取り外しは完了です。

■ Windows Vista の場合

Windows Vista で無線 LAN アダプタを取り外すには、次の手順に従ってください。

1　画面右下の通知領域の アイコンをクリックし、表示されるメッセージをクリックします。

※画面は CG-WLUSB300AGN の例です。

2　[OK] をクリックします。

3　無線 LAN アダプタを取り外します。

以上で、無線 LAN アダプタの取り外しは完了です。

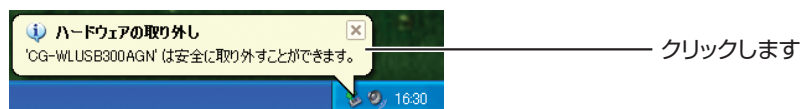
■ Windows XP の場合

Windows XP で無線 LAN アダプタを取り外すには、次の手順に従ってください。

1 **画面右下の通知領域の アイコンをクリックし、表示されるメッセージをクリックします。**

※画面は CG-WLUSB300AGN の例です。

2 **表示されるメッセージをクリックします。**

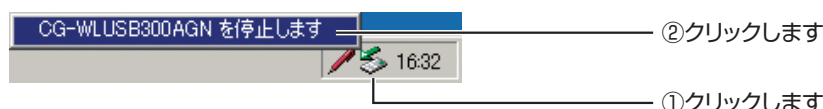
クリックしなくても、しばらくするとメッセージが消えます。

※画面は CG-WLUSB300AGN の例です。

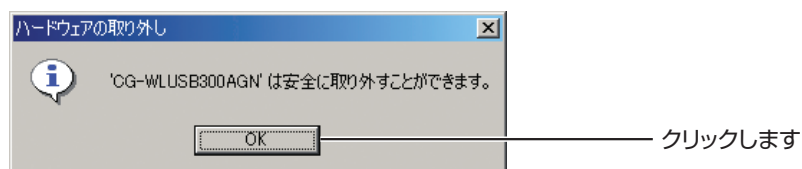
3 **無線 LAN アダプタを取り外します。**

以上で、無線 LAN アダプタの取り外しは完了です。

■ Windows 2000 の場合

Windows 2000 で無線 LAN アダプタを取り外すには、次の手順に従ってください。

1 **画面右下の通知領域の アイコンをクリックし、表示されるメッセージをクリックします。**

※画面は CG-WLUSB300AGN の例です。

2 **[OK] をクリックします。**

※画面は CG-WLUSB300AGN の例です。

3 **無線 LAN アダプタを取り外します。**

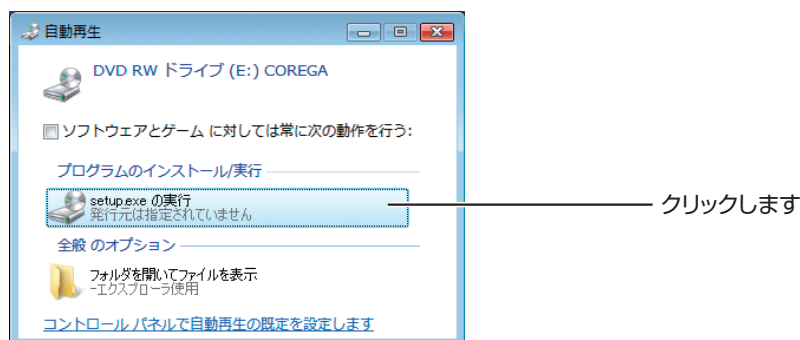
以上で、無線 LAN アダプタの取り外しは完了です。

2.5　無線 LAN アダプタ用ドライバを削除する

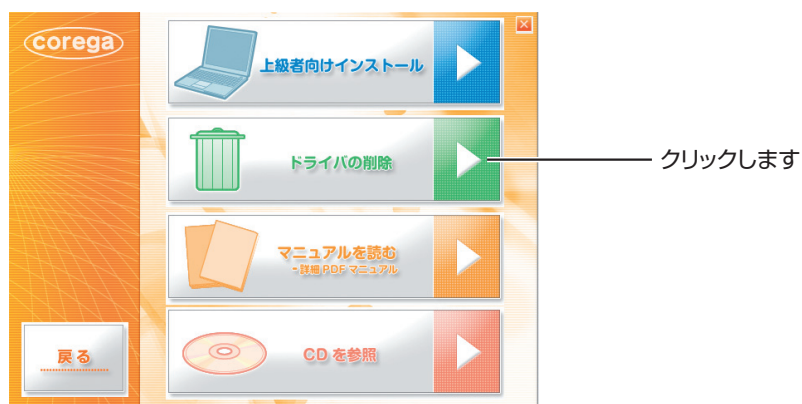
無線 LAN アダプタを使わなくなったときは、次の手順で無線 LAN アダプタ用ドライバを削除できます。

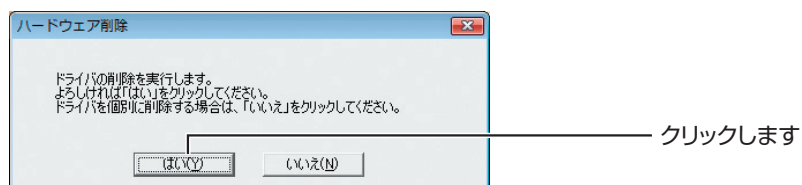
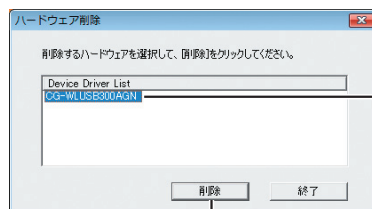
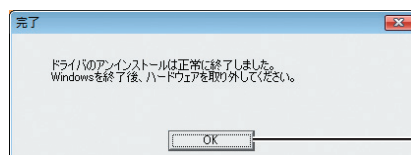
1　**ユーティリティディスク（CD-ROM）をパソコンにセットします。**

Windows XP/2000 をお使いの場合は、手順 4 に進みます。

2　**【Windows 7/Vista のみ】「setup.exe の実行」をクリックします。**

3　**【Windows 7/Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、［はい］または「許可」をクリックします。**

4　**［オプション］をクリックします。**

5 ［ドライバの削除］をクリックします。

6 ［ドライバ削除ツールを実行する］をクリックします。

7 ［はい］をクリックします。

複数の無線 LAN アダプタを使用している場合に、削除する無線 LAN アダプタを選択するときは、［いいえ］をクリックすると次の画面が表示されます。
削除する無線 LAN アダプタを選択して、［削除］をクリックします。

※画面は CG-WLUSB300AGN の例です。

8　［OK］をクリックします。

これで、無線 LAN アダプタ用ドライバが削除できました。

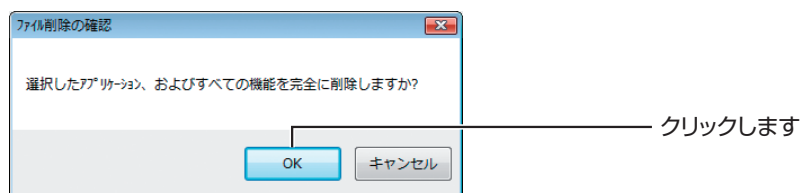
2.6　無線クライアントユーティリティを削除する

無線クライアントユーティリティを使わなくなったときは、次の手順で削除できます。

1　**［スタート］－「すべてのプログラム」（Windows 2000 では「プログラム」）－「コレガ無線 LAN ユーティリティ」－「無線クライアントユーティリティの削除」の順にクリックします。**

Windows XP/2000 をお使いの場合は、手順 3 に進みます。

2　**【Windows 7/Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、［はい］または「続行」をクリックします。**

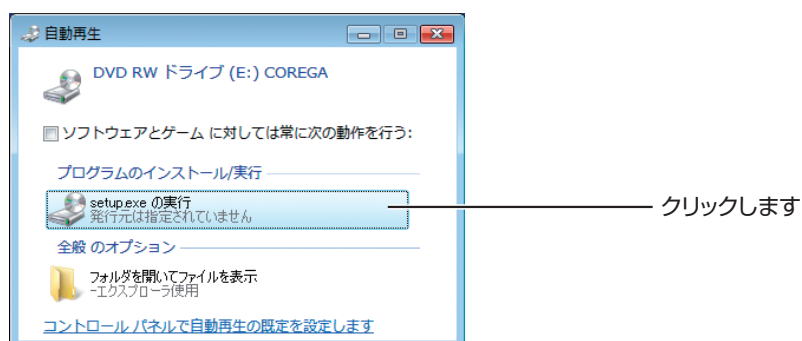
3　**［OK］をクリックします。**

これで、無線クライアントユーティリティが削除できました。

2.7 ドライバまたは無線クライアントユーティリティのみインストールする

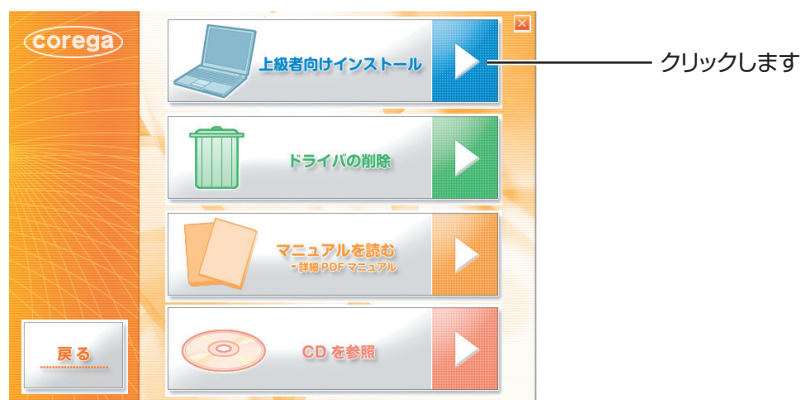
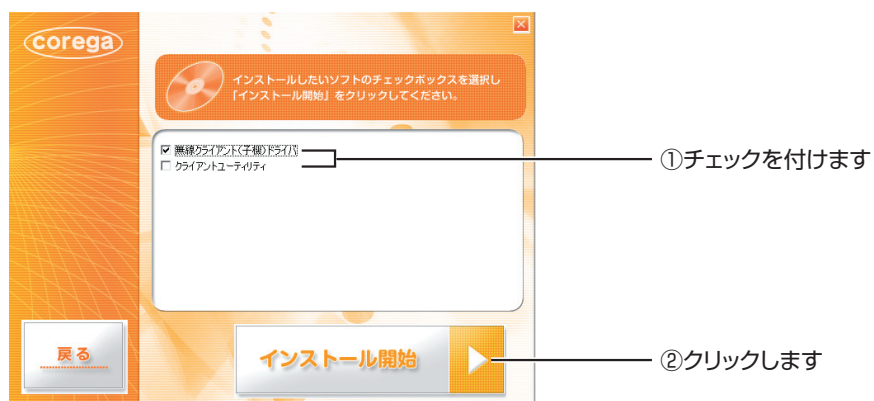
無線 LAN アダプタ用ドライバまたは無線クライアントユーティリティのみインストールしたいときは、次の手順に従ってください。

1 ユーティリティディスク（CD-ROM）をパソコンにセットします。

Windows XP/2000 をお使いの場合は、手順４に進みます。

2 【Windows 7/Vista のみ】「setup.exe の実行」をクリックします。

3 【Windows 7/Vista のみ】「ユーザーアカウント制御」画面で、［はい］または「許可」をクリックします。

4 ［オプション］をクリックします。

5 ［上級者向けインストール］をクリックします。

6 どちらかにチェックを付け、［インストール開始］をクリックします。

※画面は例です。

インストール手順は、お使いの無線 LAN アダプタに付属の「らくらく導入ガイド」をご覧ください。

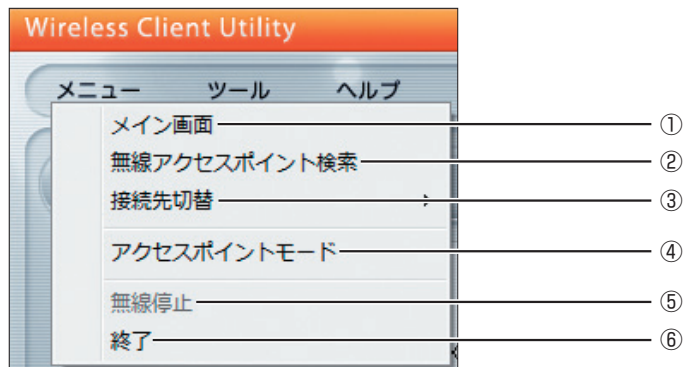
第３章

設定画面について

この章では、無線クライアントユーティリティの設定画面について、詳しく説明しています。

3.1 設定画面について

無線クライアントユーティリティの設定画面について説明します。
無線クライアントユーティリティの設定画面は、次のメニューに分かれています。

■メニュー

※画面は例です。

①メイン画面

現在の接続状態を表示します。

P.62「3.2　メイン画面」

②無線アクセスポイント検索

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を検索します。

P.64「3.3　アクセスポイント検索」

③接続先切替

複数のプロファイルを作成している場合に、接続するプロファイルを選択できます。
チェックの付いているプロファイルを使用しています。

P.67「3.4　プロファイル管理」

④アクセスポイントモード

本商品では使用できません。

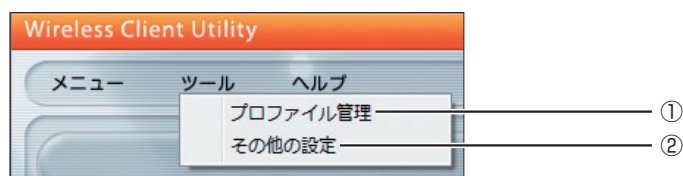
⑤無線停止（Windows XP/2000 のみ）

無線 LAN の電波を止めます。「無線停止」を選択すると、「無線再開」に表示が変わり、無線 LAN の電波が止まります。
「無線再開」を選択すると、無線 LAN が使用できるようになります。

P.76「3.5.2　その他の設定－オプション画面（Windows XP/2000 のみ）」

⑥終了

無線クライアントユーティリティを終了します。

■ツール

①プロファイル管理

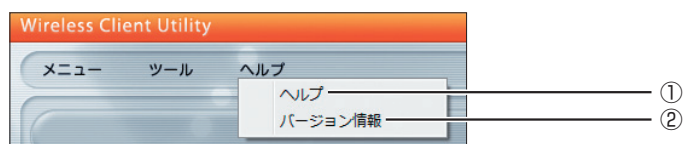
プロファイルの管理、新規作成ができます。

☞ P.67「3.4　プロファイル管理」

②その他の設定

プロファイルの保存・読み込みや、無線クライアントユーティリティの詳細な設定などができます。

☞ P.74「3.5.1　その他の設定－全体画面」

■ヘルプ

①ヘルプ

無線クライアントユーティリティのオンラインヘルプを表示します。

②バージョン情報

無線クライアントユーティリティのバージョン、接続している無線 LAN アダプタのドライバのバージョンが表示されます。

3.2 メイン画面

現在の接続状態を表示します。

※画面は例です。

①スクロールウィンドウ

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）との接続状態をスクロール表示します。

表示速度を変更できます。

P.74 「3.5.1　その他の設定－全体画面」

②接続状況

IEEE802.11 のモード、チャンネル（ch）、接続速度（Mbps）、無線 LAN セキュリティ、使用しているプロファイル名、ネットワーク名（SSID）、パソコンが取得している IP アドレスを表示します。
アイコンの意味は次のとおりです。

インフラストラクチャーモードで接続しています。

インフラストラクチャーモード（ダブルチャンネル）で接続しています。

アドホックモードで接続しています。

無線 LAN セキュリティが設定されています。

無線 LAN セキュリティが設定されていません。

③接続強度

電波の強さを表示します。

非常に強い電波状態です。

強い電波状態です。

弱い電波状態です。

非常に弱い電波状態です。

未接続です。

3

④アクセスポイント数

電波が届いていて接続できる無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の数を表示します。

⑤［検索］

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を検索して、結果を表示します。

☞ **P.64**「3.3　アクセスポイント検索」

⑥［プロファイルの管理］

プロファイルの管理、新規作成ができます。

☞ **P.67**「3.4　プロファイル管理」

⑦［再接続］

クリックすると、いったん切断したあとで、再接続します。

3.3 アクセスポイント検索

電波が届いていて接続できる無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を表示します。

■イメージ画面

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の検索結果を表示します。無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の電波の強さで位置をイメージ表示します（距離をイメージしているものではありません）。

※画面は例です。

①アクセスポイント検索

検索された無線 LAN ルータ（アクセスポイント）をアイコンで表示します。
アイコンの意味は次のとおりです。

無線 LAN セキュリティが設定されています。

無線 LAN セキュリティが設定されていません。

接続中の無線 LAN ルータ（アクセスポイント）です。

接続していない無線 LAN ルータ（アクセスポイント）です。

接続中のアドホッククライアントです。

接続していないアドホッククライアントです。

②詳細な検索結果に切替える

チェックを付けると、P.65「■詳細画面」を表示します。

③検索内容

アイコンにマウスカーソルを合わせると、検索された無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の次の情報を表示します。

SSID　：ネットワーク名（SSID）を表示します。
モード　：「インフラストラクチャー」または「アドホック」を表示します。
CH　：使用しているチャンネルを表示します。
強度　：電波の強度を表示します。
暗号化　：無線 LAN セキュリティの設定を表示します。

④［接続］

選択した無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に接続します。無線 LAN セキュリティが設定されている場合は、ネットワークキーを入力する画面が表示されます。

⑤［再検索］

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を再検索します。

⑥［TOP へ］

P.62 「3.2　メイン画面」を表示します。

■詳細画面

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の検索結果を一覧で表示します。
イメージ画面で「詳細な検索結果に切替える」にチェックを付けると表示されます。

※画面は例です。

①プルダウンメニュー

一覧を 2.4GHz 帯または 5GHz 帯のみ表示できます。

②詳細な検索結果に切替える

チェックを外すと、P.64 「■イメージ画面」を表示します。

③検索内容

検索された無線 LAN ルータ（アクセスポイント）の次の情報を表示します。

SSID　　：ネットワーク名（SSID）を表示します。
BSSID　：MAC アドレスを表示します。
通信規格：使用している IEEE802.11 の規格を表示します。
モード　：「インフラストラクチャー」または「アドホック」を表示します。
CH　　　：使用しているチャンネルを表示します。
強度　　：電波の強度を表示します。
暗号化　：無線 LAN セキュリティの設定を表示します。

④［接続］

選択した無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に接続します。無線 LAN セキュリティが設定されている場合は、ネットワークキーを入力する画面が表示されます。

⑤ [再検索]

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）を再検索します。

⑥グラフ

周辺にある無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のチャンネル（CH）をグラフで表示します。

⑦［2.4GHz の表示］/［5GHz の表示］

グラフの表示を 2.4GHz 帯または 5GHz 帯に切り替えます。

⑧［TOP へ］

P.62「3.2 メイン画面」を表示します。

3.4　プロファイル管理

プロファイルの管理、新規作成ができます。

3.4.1 プロファイル管理画面

プロファイルを一覧表示して、使用するプロファイルを設定できます。

※画面は例です。

①プロファイルリスト

作成されているプロファイルを表示します。

プロファイル名の前に付いているアイコンの意味は次のとおりです。

接続中のプロファイルです。

接続していないプロファイルです。

接続が固定されたプロファイルで、接続中です。

接続が固定されたプロファイルで、接続していません。

②プロファイルの優先度

プロファイルを選択してクリックすると、使用する優先順位を設定できます。

優先順位を上げます。

優先順位を下げます。

③設定内容

選択したプロファイルの設定内容を表示します。

☞ P.68「3.4.2　プロファイル－基本画面」

☞ P.69「3.4.3　プロファイル－セキュリティ画面」

④接続するプロファイルを固定する

プロファイルを選択して、をクリックすると、使用するプロファイルを固定します。もう一度クリックすると、固定を解除します。

固定を解除しないかぎり、ほかのプロファイルは使用できなくなります。

⑤削除

プロファイルを選択してクリックすると、そのプロファイルを削除します。

⑥編集

プロファイルを選択してクリックすると、P.68「3.4.2 プロファイルー基本画面」を表示し、プロファイルを編集できます。

⑦［再接続］

選択したプロファイルを使用して接続します。

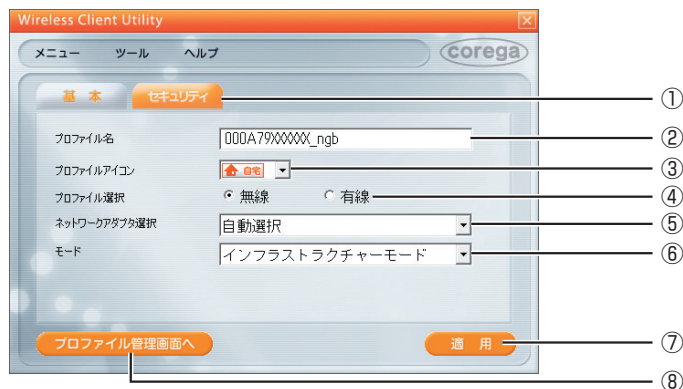
⑧［新規追加］

プロファイルを新規に作成します。クリックすると、P.14「1.3.1 接続方法選択画面」を表示します。

⑨［TOPへ］

P.62「3.2 メイン画面」を表示します。

3.4.2 プロファイルー基本画面

プロファイルを作成、修正できます。

※画面は例です。

①セキュリティタブ

P.69「3.4.3 プロファイルーセキュリティ画面」を表示します。

②プロファイル名

プロファイル名を入力します。

③プロファイルアイコン

プロファイルアイコンを選択します。

複数のプロファイルを作成する場合に、用途によってアイコンを使い分けることで、プロファイル管理画面で区別しやすくなります。

④プロファイル選択

「無線」を選択します。

⑤ネットワークアダプタ選択

「自動選択」またはお使いの無線 LAN アダプタを選択します。

⑥モード

「インフラストラクチャーモード」または「アドホックモード」を選択します。

⑦［適用］

設定した内容を保存します。

⑧［プロファイル管理画面へ］

P.67 「3.4.1　プロファイル管理画面」を表示します。

3.4.3 プロファイル－セキュリティ画面

設定する無線 LAN セキュリティによって表示される画面が異なります。

P.69 「■ WPA2-PSK または WPA-PSK を設定する」

P.71 「■ WEP を設定する」

P.73 「■セキュリティを設定しない」

接続する無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に合わせて設定する必要があります。無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に設定されている無線 LAN セキュリティを確認してください。

■ WPA2-PSK または WPA-PSK を設定する

認証方式で「WPA2-PSK」または「WPA-PSK」を選択すると、次の画面が表示されます。

※画面は「WPA2-PSK」を選択した例です。

①基本タブ

P.68 「3.4.2　プロファイル－基本画面」を表示します。

②ネットワーク名（SSID）

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のネットワーク名（SSID）を選択または入力します。

③認証方式

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に合わせて、「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択します。

「Open System」「Shared Key」を選択したときは、次の項目をご覧ください。

☞ P.71 「■ WEP を設定する」

☞ P.73 「■セキュリティを設定しない」

④暗号方式

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に合わせて、「TKIP」または「AES」を選択します。

⑤入力方式

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に合わせて、「ASCII」または「16 進数」を選択します。

⑥共有キー

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に合わせて、ネットワークキー（共有キー）を入力します。

⑦［適用］

設定した内容を保存します。

⑧［プロファイル管理画面へ］

P.67 「3.4.1 プロファイル管理画面」を表示します。

■ WEP を設定する

認証方式で「Open System」または「Shared Key」を選択し、暗号方式で「WEP 64 Bit」または「WEP 128 Bit」を選択すると、次の画面が表示されます。

※画面は「Open System」および「WEP 128 Bit」を選択した例です。

①基本タブ

P.68「3.4.2 プロファイル－基本画面」を表示します。

②ネットワーク名（SSID）

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）のネットワーク名（SSID）を選択または入力します。

③認証方式

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に合わせて、「Open System」または「Shared Key」を選択します。

「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選択したときは、次の項目をご覧ください。

☞ P.69「■ WPA2-PSK または WPA-PSK を設定する」

④暗号方式

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に合わせて、「WEP 64 Bit」または「WEP 128 Bit」を選択します。

③認証方式で「Open System」を選択し、④暗号方式で「無効」を選択したときは、次の項目をご覧ください。

☞ P.73「■セキュリティを設定しない」

⑤入力方式

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に合わせて、「ASCII」または「16 進数」を選択します。

⑥キー 1 ～キー 4

無線 LAN ルータ（アクセスポイント）に合わせて、WEP キーを入力します。
4 つまで WEP キーを入力でき、チェックを付けた WEP キーを使用します。
WEP キーに入力できる文字数は次のとおりです。

暗号方式	入力方式	
	ASCII	16進数
WEP 64 Bit	5文字（半角英数記号）	10文字（0-9,a-f）
WEP 128 Bit	13文字（半角英数記号）	26文字（0-9,a-f）

⑦［適用］

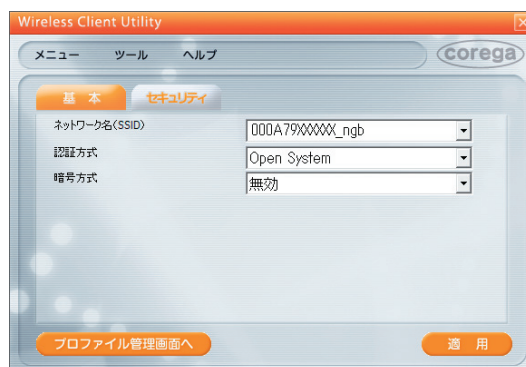
設定した内容を保存します。

⑧［プロファイル管理画面へ］

P.67 「3.4.1 プロファイル管理画面」を表示します。

■セキュリティを設定しない

認証方式で「Open System」を選択し、暗号方式で「無効」を選択すると、無線 LAN セキュリティを設定しません。

通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりするおそれがあります。無線 LAN セキュリティを設定して使用することをお勧めします。

※画面は例です。

■ 802.1x 認証

認証方式で「WPA-EAP」または「WPA2-EAP」を選択したとき、または認証方式で「Open System」を選択し、暗号方式で「802.1x」を選択したときは、[802.1x 認証] をクリックして、認証サーバを設定してください。詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

3.5 その他の設定

その他の設定－全体画面と､その他の設定－オプション画面（Windows XP/2000 のみ）があります｡

3.5.1 その他の設定－全体画面

無線クライアントユーティリティの動作、プロファイルの操作などができます。

※画面は例です。

①オプションタブ（Windows XP/2000 のみ）

P.76 「3.5.2 その他の設定－オプション画面（Windows XP/2000 のみ）」を表示します。

② Windows 起動時に自動的に常駐する

チェックを付けると、Windows 起動時に自動的にシステムに常駐します。

③常に手前に表示する

チェックを付けると、常にウィンドウの一番手前に表示します。

④言語パッケージ

「日本語」のみ表示します。

⑤プロファイルのロック

プロファイルを変更できないように、パスワードを設定してロックします。
ロックをかけると、プロファイルの新規追加、編集、削除などの操作ができなくなります。

⑥［プロファイルの書き出し］

すべてのプロファイルをファイルに保存します。設定をバックアップしたり、パソコンを交換したりするときなどにお使いください。
［プロファイルの書き出し］をクリックすると、ファイル名を入力する画面が表示されますので、ファイル名を入力して［保存］をクリックします。引き続きパスワードを入力すると、プロファイルをファイルに保存します。

パスワードはメモに控えておいてください。プロファイルを読み込むときに、パスワードを入力する必要があります。

⑦［プロファイルの初期化］

すべてのプロファイルを削除します。
［プロファイルの初期化］をクリックすると確認画面が表示されますので、［はい］をクリックするとすべてのプロファイルを削除します。

※プロファイルをロックしているときは使用できません。

⑧［プロファイルの読み込み］

ファイルに保存したプロファイルを読み込みます。
［プロファイルの読み込み］をクリックすると、ファイルを選択する画面が表示されますので、保存したファイルを選択します。引き続きパスワードを入力すると、プロファイルを読み込みます。

※プロファイルをロックしているときは使用できません。

・プロファイルを読み込むと、使用中のプロファイルが削除されます。必要なプロファイルは、あらかじめ保存しておくか、設定内容をメモに控えておくことをお勧めします。
・⑥［プロファイルの書き出し］で設定したパスワードを忘れると、プロファイルを読み込めません。

⑨スクロール速度

P.62 「3.2　メイン画面」のスクロールウィンドウの表示速度を変更できます。バーを左側に移動させるとスクロール速度が遅くなり、バーを右側に移動させるとスクロール速度が速くなります。

⑩［適用］

設定した内容を保存します。

⑪［キャンセル］

［適用］をクリックする前にかぎり、設定内容を元の状態に戻します。

⑫［TOP へ］

P.62 「3.2　メイン画面」を表示します。

3.5.2 その他の設定－オプション画面（Windows XP/2000 のみ）

無線 LAN の電波を止めること、Windows XP 標準のワイヤレスネットワーク接続の使用などを設定できます。

①全体タブ

P.74 「3.5.1　その他の設定－全体画面」を表示します。

②電波を止める

チェックを付けると、無線 LAN の電波を止めます。

メニューで設定することもできます。

☞ P.60 「3.1　設定画面について」「⑤無線停止」

③ Windows Zero Config を有効にする（Windows XP のみ）

チェックを付けると、Windows Zero Config を有効にします。Windows XP 標準のワイヤレスネットワーク接続を使用できます。

④使用帯域

2.4GHz 帯または 5GHz 帯に固定できます。

⑤省電力

「無効」（省電力モードを使用しない）、「最大」、「速度優先」のいずれかを選択します。

⑥送信電力

「100%」（送信電力を制限しない）、「50%」、「25%」、「12.5%」のいずれかを選択します。

⑦ RSS

RSS フィードを P.62 「3.2　メイン画面」のスクロールウィンドウに表示できます。Web サイトの URL を入力してください。

⑧ RSS Refresh Interval

RSS フィードの更新間隔を設定します。「1 時間」、「3 時間」、「6 時間」のいずれかを選択します。

⑨ Tx バースト

Tx バースト対応の無線 LAN ルータ（アクセスポイント）と接続するときに「有効」を選択すると、通信速度が向上します。

⑩［適用］

設定した内容を保存します。

⑪［キャンセル］

［適用］をクリックする前にかぎり、設定内容を元の状態に戻します。

⑫［TOP へ］

P.62 「3.2　メイン画面」を表示します。

3

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

2008年　1月　初　版
2009年　12月　第三版